



# 学校だより

令和5年 1月31日

2月号

岩国市立岩国小学校



## ～春を見据えて～

校長 清 寿光

お正月を迎えたと思ったら、もう2月です。2月は陰暦では、如月といいます。語源としては、寒さで更に着物を重ねて着ることから「着更着（きさらぎ）」とする説が最有力だそうです。この言葉のとおり、まだまだ寒さが厳しく重ね着が必要です。

発生から3年以上経つ新型コロナウイルス感染拡大に、なかなか歯止めがかからない状況です。本校では、引き続きマスクの着脱や手洗い、教室の換気、うがいの励行など、感染予防を徹底して行って参ります。各ご家庭におかれましても、栄養と睡眠をしっかりととり、健康管理に充分ご配慮いただきますようお願いいたします。

さて、今年は2月4日（土）が「立春」です。暦の上では、春になります。少しずつですがあたたかくなり、木々の芽も膨らんできます。生き物も春に向けての準備を始める時期です。「立春」「立夏」「立秋」「立冬」と季節の変わり目があります。その前日をそれぞれ「節分」と言いますが、江戸時代から「立春」の前日だけを「節分」と呼ぶようになったそうです。ある意味、1年の始まりと終わりというとらえ方もできます。「節分」には、家から



鬼を追い払うために、豆まきをするという伝統行事があります。諸説ありますが、その一説として、季節の変わり目には、邪気（鬼）が生ずると考えられており、その邪気を追い払うために豆をまくということだそうです。「鬼は外、福は内」という掛け声を出しながら、1年間無事に過ごせますようにという願いを込めて、家族みんなで豆まきをされてはどうでしょうか。

学校でも大きな行事はほぼ終わり、1年間のまとめをしながら、卒業式に向けて準備を進めていく時期となります。子どもたちも、各学年で次の学年を見据えながら、心と体の準備を始めているところです。

春はもうそこまで来ています。春を見据えて、教職員一同しっかりと子どもたちを支援し、残り少ない3学期を過ごして行きたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

### 学校からのお知らせ

#### ◇ 転出の情報をお寄せください

新年度に向けた学級編成を行うにあたり、基礎となる児童数は大変重要な数字となってきます。学年において、児童一人の増減が学級数に影響して来る場合もあります。もし、転居等により、転校する可能性がある場合、不確定な状況であっても、担任までご連絡ください。6年生においても、市内・市外を問わず、公立中学校では新年度の生徒数を把握したい状況にあります。学区の中学校（岩国中学校）に入学しない場合は、担任に進学先をご連絡ください。

#### ◇ 学校評価アンケートの結果について

昨年12月に、本年度2回目の学校評価アンケートを実施しました。保護者の皆様にはご多用の中ご協力いただき、ありがとうございました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な活動が制限される中であっても、子どもたちが意欲的に学校生活を送っていることが、アンケートの結果から読み取れました。今後も家庭・地域と連携しながら、さらに信頼される学校づくりに取り組んで参りたいと思っております。結果の詳細につきましては、学校ホームページに掲載しておりますのでそちらをご覧ください。